

9月定例所長会見における発電所長挨拶内容

所長の設楽でございます。

福島第一原子力発電所の事故からまもなく5年6ヶ月が経とうとしております。今なお、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますこと、あらためまして心よりお詫び申し上げます。

本日、私からは4点お話しをさせていただきます。

まず始めに、原子力規制委員会による審査の対応状況についてです。

当発電所6号機、7号機については、2013年9月に新規制基準に基づく適合性審査の申請を行い、現在、原子力規制委員会による審査が継続的に実施されております。

耐震設計に関する審査につきましては、7月下旬に耐震設計の論点に係る整理表を原子力規制委員会に提出し、当社として説明が可能な時期をお示しさせていただいたところです。現在、残っている論点について丁寧に説明し、引き続き、審査に真摯に対応してまいります。

二点目は、「地域の皆さまへの説明会」の開催についてです。

今月13日に柏崎市にて、翌14日に刈羽村にて、地域の皆さまへ発電所の取り組み状況をお伝えする説明会を開催いたします。説明会の開催は、震災以降では9回目となります。

説明会は二部構成で、第一部では、当社より、主に6号機、7号機に関するこれまでの適合性審査の対応状況等についてご説明させていただきます。予定です。

2016年9月8日

第二部では、地域の皆さまからの質疑にお応えする時間を設けております。

是非、多くの地域の皆さまに説明会にご参加いただき、現在進めている安全対策の取組について、ご理解を深めていただける機会になればと考えております。

発電所の安全性向上にむけた取組につきましては、今後とも、こうしたフェイス トゥ フェイスでの対話も含めさまざまな機会を通じて、丁寧に、わかりやすく情報発信を行い、地域の皆さまにご理解をいただけるよう努めてまいります。

三点目は、「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」による発電所の防災訓練のご視察についてです。

発電所では、緊急時における事故対応力を向上させるため、個別訓練および総合訓練を定期的を実施し、都度、必要な改善を加えてきております。

このたび、来月6日に行う防災訓練の様子について、「地域の会」の皆さまにご視察いただくこととなりました。

「地域の会」の皆さまには、免震重要棟にある「緊急時対策室」に対策要員が参集し、対策本部の設置、各々の持ち場で事態の進展に応じた対応をしている様子などをご覧いただきます。

こちらにつきましては、報道関係の皆さまへ公開させていただきたいと考えており、別途、ご案内させていただきます。

最後に、「サービスホールの一部リニューアル」についてです。

発電所の広報施設「サービスホール」は、原子力発電のしくみや、安全対策の取組についてご案内しておりますが、その展示棟の4階には、小さなお子さまにも親しんでいただけるよう、キッズコーナーを設けており、地元地域のみなさまを中心に活用頂いております。

このたび、遊具の経年劣化、ならびに災害発生時の避難誘導のしやすさなど安全面を考慮して、キッズコーナーを展示棟の1階に移設し、あわせてリニューアルを実施いたしました。

2016年9月8日

新しいキッズコーナーは、「キッズフォレスト」として、今月22日にオープンいたします。ご家族のコミュニティスペースとしても是非、ご活用いただければと考えております。

これからも、地域の皆さまに、エネルギーのことを楽しく学び、コミュニケーションできる場所としてご活用いただけるよう、魅力ある広報施設の運営に努めてまいります。

本日、私からは以上です。

以 上